

第109回 理事会（平成18年度第8回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時 : 平成18年12月11日（月）19:00～20:30
2. 場 所 : 神奈川県社会福祉会館 4階第2会議室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事 : (副会長) 野地 澄雄、八尾 勉
(専務理事) 片 忠夫
(常務理事) 三塚 康雄、上田 英之、木村 徳善
(理事) 徳本 進、吉野 大成、藤田 浩介、荻野 恭宏、金子 理人、
金子 理人、清水 忠、小池 光、森本 珠水、平沢 幸一、
吉岡 去私、平賀 淳夫
欠席理事 : (会長) 河野 洋平
(副会長) 山田 隆
(常務理事) 菊地 富士夫、
(理事) 川田 光代、岡本 洋一、斎藤 幸雄、百海 廷、国島 みどり
うち委任 山田 隆、菊地 富士夫、川田 光代、岡本 洋一、斎藤 幸雄、
百海 廷、国島 みどり
4. 出席監事 : 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出 : 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出 : 金子 理人理事、吉岡 去私理事を選出
7. 書 記 : 三浦 亜矢子広報委員を指名
8. 議 事

開 会 野地副会長から開会の挨拶を述べた。

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

- ① 木村本部長より、下記行事（別紙配布資料参照）に関する報告があり、了承された。

イ) 指導員研修会【理論】

期日：11月23日（木） 9:00～ 会場：川崎市教育文化会館

参加人員 1091名（昨年：1074名） スタッフ 53名 総計 1144名

ロ) 教育本部会

期日：11月23日（木） 14:00～ 会場：川崎市教育文化会館 控え室

ハ) ブロック研修会関係

- ・ 南関東ブロック研修会 参加者 52名

期日：12月1日（金）～3日（日） 会場：車山高原スキー場

あわせて拡大教育本部会を開催

- ・ パトロール中央研修会 参加者 2名

期日：12月1日（金）～3日（日） 会場：ピラタス蓼科スキーリゾート

- ・ SAKスノーボード技術員研修会 参加者 4名

期日：12月5日（火）～6日（水） 会場：軽井沢プリンスホテルスキー場

二) 教育本部会

期日：12月9日（土） 19:00～ 場所：県連事務所

- ・ 正指導員受験者数 52名（昨年度 71名）
- ・ 準指導員受験者数 156名（昨年度 135名）
- ・ 車山行事Ⅰ 参加者数 305名（昨年度 289名）
- ・ 野辺山行事 参加者数 144名（昨年度 141名）

- ② 木村本部長より以下の報告があり、了承された。
- ・ 新規協賛企業 ポートサイド印刷（印刷業） 2万円
 - ・ 千葉県とのブロック技術員交流会派遣について
期日：12月23日（土）～24日（日） 会場：たかはたスキー場 2名派遣予定
 - ・ オフトレ、養成講習会、理論研修会、南関東ブロック研修会関係行事会計チェック中であり、ブレ監査対象。
 - ・ ジャーナル販売物品 +13万円収益（養成講習、指導員研修会にて）、残存物品は今月末にジャーナルに返却予定。

(2) 審議事項
特になし

2) 競技本部関係

(1) 報告事項

平沢理事より、下記行事（別紙配布資料参照）に関しての報告があり、了承された。

- ① 野辺山FIS大会
12月17日（日）～ 開催予定だったが、雪不足のため中止。
- ② 南関東ノルディック競技会ドロー
12月9日（土）実施。総参加数 207名。内神奈川県スキー連盟49名。
- ③ ノルディック国体選考会について
前回の理事会において、1月2日ノルディック県選手権を第1次選考会、1月12日南関東ノルディック大会を第2次選考会と位置づけたが、大学生男女Aクラスだけ、インカレと重複することが判った。このため大学生はインカレの成績を取り寄せ選考、一般は南関東ノルディック大会を国体選考対象レースとした。
- ④ フリースタイル競技大会について
大会に向け、専門委員会を開き準備を実施中。日程は、1月26日（金）～27日（土）SAJB級さのさか大会に参加。神奈川公式トレーニングを兼ねている。神奈川の大会は28日（日）開催予定。
- ⑤ 県総体ドローを12月13日（水）県連事務所にて、教育委員会立会いのもと実施予定。

(2) 審議事項

- ① ジュニア指定選手の追加承認について（別紙配布資料参照）
平沢理事より、ジュニア指定選手ランク変更（1名）および追加（2名）の提案がなされ、承認された。
- ② 県総体行事について
平賀理事より、県総体の収支が厳しく、来年より参加料を徴収（各種目1人500円）することの提案がなされ、承認された。更に平賀理事より、県の予算が17年度は3.5%、18年度は8%削減され、来年度よりバーンの使用料徴収の話もある。参加料は市で取りまとめて県連に支払うかたちをとる。本件は来年の県総体の現地で説明し、5月の評議員会で承認を得て来年度より実施する旨を提案する予定。県総体運営費全体を提示し、各協会の理解を得たい。また引き続きスキー場との交渉、スポンサー探しを行う。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

- ① 慶弔関係について
特になし
- ② 資金運用について
藤田理事より、11月末現預金残高の報告があり、SAJ登録手続きが早まっており昨年同時期より約10百万円ほど増えているとの説明があり、了承された。
- ③ 登録状況について
荻野理事より、18年度の登録手続き状況ではまだ若干のクラブから登録が届いていない状況である旨の説明があった。また、SAJ会員証について、今週末SAJより届く予定であり、各クラブへの送付準備済みである旨報告があり、了承された。

④各種委員会

次の各理事から報告があり、了承された。

イ) 電子申込み委員会（徳本事務局長）

行事申し込み受付中との報告があった。

ロ) 普及振興委員会（吉野理事）

ジュニア行事について下記のとりの報告があった。

期日：12月25日（月）～28日（木） 会場：尾瀬岩鞍スキー場

12月9日説明会開催。参加者：31名 スタッフ8名＋1名（撮影） バス1台

ハ) 協賛会員拡大委員会（代：徳本事務局長）

新規に（株）アートハウスプランニング（建築、設計、施工業）より3万円の協賛があった。

二) 個人情報保護委員会（徳本事務局長）

特になし

ホ) HC委員会（代：徳本事務局長）

11月14日に委員会開催。賛助会費中間集計結果（328356円）の報告があり、昨年より増えている旨の報告があった。

ヘ) 広報委員会（金子理事）

特になし

ト) 規約規程委員会（徳本事務局長）

11月27日開催し、「役選規定」、「評議員会開催規定」等を諮問した。次回は1月17日開催予定である旨報告があった。

チ) 北海道委員会（吉野理事）

参加者は合計292名で、（うち36名スタッフ）である旨報告がされた。

リ) 財務委員会（藤田理事）

特になし

⑤徳本事務局長より、下記の事項についての報告があり、了承された。

イ) 車山藤原校長の手術後の経過連絡およびお礼文書について報告があった。

ロ) 功労指導員、名誉検定員の認定証が届き、各人に配送済みとの報告があった。

ハ) SAK理事、専門委員のネームプレート作成について報告があった。

二) 大会保険について、ジュニアなどの新しい行事を追加し、契約済みとの報告があった。

ホ) 有資格者の研修会費の返還（移籍）について、継続調査中との報告があった。

ヘ) 各事業役員出席表（別紙配布資料参照）について報告があった。

(2) 審議事項

①居住地変更による交通費申請について

徳本事務局長より、本人の勤務都合による居住地変更（横須賀→裾野）に伴う交通費申請についての提案がなされ、承認された。

②公益法人事業実施状況調査（現地調査）の日程調整について

徳本事務局長より、12月6日県教育委員会から3年に1度の公益法人現地調査の連絡があり、調査実施日について提案があったが、副会長、専務理事、常務理事、総務本部長、会計の出席が必要であることから、別途日程調整を行うことの提案がなされ、承認された。この現地調査は、年度内に行えばよいが、2月、3月は行事でたてこむため、1月実施の方向で調整する。

4) その他

①HC委員会からの活動協力御礼と要請について

理事会に先立ち、HC委員会の神谷委員長より委員会活動協力の御礼と今後の雪上行事に対するの協力要請があった。

②専門委員の名刺について

平沢理事より、専門委員の名刺の作成予定について質問があり、徳本事務局長より作成予定であるとの回答があった。作成が必要な委員と名刺の内容については、今後確認を行う。

③臨時常務会報告について

野地副会長より、教育本部理事2名と総務本部理事1名より教育本部の執行に対する嘆願書が提出されたことに対して、検討を行うべく本日開催したが、出席者が少なく検討が十分行えなかったため、12月18日に再度常務会を開催し、検討を行うこととした。北海道行事に関しては、

野地副会長より注意を促すこととした。

④県連理事としての規律ある行動の要望について

片専務理事より、飲酒運転・パワハラ・セクハラなど無いように厳重に注意して行動していただきたいとの要望がなされた。

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成18年12月20日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印